 主イエスが十字架にかかって死なれたことは、当時エルサレムにいた人ならば、誰もが知っていたということができます。なぜなら、それは隠れて起こった出来事ではないからです。そこにはローマの総督ポンテオ・ピラトを初め、ローマ兵たち、祭司長、律法学者、長老たちといったユダヤ人の指導者たち、また多くの群衆がその出来事に関わっていました。主イエスの死は、多くの人によって目撃されていたのです。ですから、主イエスは間違いなく十字架で死なれました。そして、墓の中に葬られたのです。


Jesus' crucifixion was an incident known to everyone who was in Jerusalem at that time, because it was not something done secretly. A lot of people like the Roman governor Pontius Pilate, the Roman soldiers, the chief priests, the teachers of the law, and the elders, as well as a big crowd were involved. Jesus' death was witnessed by many people. There was no doubt that Jesus died on the cross, and He was buried in a tomb.

もし、主イエスが私たちと同じただの人に過ぎなかったとしたら、彼のストーリーは死で終わっていたと思います。しばらくの間は、主イエスを知る人たちによって、主がどのような方で、どのような生涯を送られたかが語り継がれたかも知れませんが、それが何世紀にも渡り、また世界中で覚えられることはなかったでしょう。しかし、どうでしょうか？十字架の出来事から二千年が経った今も、私たちは主イエスを救い主と告白し、主を愛し、主に自分の人生をゆだねて生きているのです。先週も二人の人が、洗礼の恵みに与りましたが、そのことは実に主イエスが今日も生きて働いておられることの証拠といえるのではないのでしょうか。

If Jesus was a normal human like us, His story had ended with His death. Maybe His life story would have been told for a certain time by the people who knew Him, but probably not in all over the world, or for centuries. What has happened is that even 2000 years after Jesus' crucifixion, people claim Jesus as the Savior; they love Him and cast their lives on Him. We had two baptisms last week in this church—I think it is proving that Lord Jesus is living and working in us even now.

主イエスは十字架の死後、三日目に死人の中よりよみがえられました。ここに私たち自身も復活するという望みが与えられています。私たちはみな必ず死にます。それは何をもってしても避けることのできない事実です。しかし、この肉体における死は終わりではありません。死は罪ある人間がそのままの状態でも永遠に生きることのないように神様が定められたものであって、神様が望んでおられることは、私たちがその罪から救われて、永遠のいのちをもつ者となることです。そのために御子イエスは、私たちの罪を背負い、私たちの代わりに十字架で罪のさばきを受けてくださいました。

Jesus was raised from the dead on the third day after dying on the cross. This gives hope that we too will be resurrected. We all die – and that's the inevitable fact. However, the death of this physical body is not the end. Death is something God set for humans so that we won't live forever with sin. And He desires that we all will be saved from sin and have everlasting life. For that purpose Jesus bore our sin and punishment on the cross on behalf of us.

 十字架の出来事を主イエスの母マリヤとすぐ近くで見ていた弟子のヨハネは、主の死の様子をこのように伝えています。ヨハネ福音書19章33-34節、「33 しかし、イエスのところに来ると、イエスがすでに死んでおられるのを認めたので、そのすねを折らなかつた。34 しかし、兵士のうちのひとりがイエスのわき腹を槍で突き刺した。すると、ただちに血と水が出て来た」。

Apostle John, who watched Jesus' crucifixion with His mother Mary, describes the scene in John 19:33-34: "But when they came to Jesus and found that he was already dead, they did not break his legs. Instead, one of the soldiers pierced Jesus' side with a spear, bringing a sudden flow of blood and water."

人類の罪に対する贖いのわざは、主イエスの完全な死によって成し遂げられました。主イエスにとって、十字架の道を歩むことは、神様から与えられた使命でありました。神様は、その十字架の使命を与えるとともに、三日目に死からよみがえることを主イエスに約束しておられたのです。ですから、主イエスは、実際にご自分の身に復活の出来事が起こる前に、そのことを信仰によって確信しておられました。そのことが事実、その通りになったのです。

The work of atonement was completed by Jesus' complete death. For Jesus, to walk on the road to the cross was His mission from God the Father. But God also promised Jesus that He will raise Him from the dead and Jesus knew that for sure by His faith.

考えてみたら、主イエスは私たちの代わりに罪のさばきを受けて死んで下さいましたが、主イエスご自身には全く罪はありませんでした。主イエスのお心は、常に父なる神様のそれと一つだったのです。ですから、人類の罪の贖いという十字架の使命を全うされた主イエスを、神様が死からよみがえらさない理由はどこにもありませんでした。エペソ書1章20節に記されているように、「神は、その全能の力をキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえら」されたのです。

Jesus died as a ransom of our sin but Jesus Himself had no sin. The reason Jesus died was for the salvation of the humans and not because He sinned. It was not God's will to leave someone who has no sin forever in death. As it says in Ephesians 1:20, "God exerted when He raised Christ from the dead and seated Him at His right hand in the heavenly realms."

しかし、どうでしょうか？いくら聖書がそう告げていたとしても、死者の復活は、やはり私たちの常識では受け入れ難いものであると思うのです。知識を増すことや、何か努力をすることで、それを信じることができるなら、どれだけ幸いなことでしょうか。今日のテキストに登場してくる二人のマリヤも、実は主イエスの復活を信じて、墓にやってきたのではありませんでした。彼女たちは、主イエスの十字架の死が安息日の備え日で、その時に十分な葬りができなかったのも、安息日が終わった日曜日の朝に、主のからだにもう一度油を塗って、手厚く葬るために墓に来たのです。ですから、彼女たちは主の死を受け入れ、主をすでに死なれた方として考えていたのです。

However, even though the Bible says so, the resurrection of the dead is hard to believe with common sense. It's not something that will be believed easily by an increase in knowledge or by putting more effort in. Mary Magdalene and the other Mary too, actually did not come to the tomb believing Jesus was raised. They came to bury Jesus' body with more respect because the day He died was the day before Sabbath and they could not take enough care of the body.



ところが、墓に来て見ると、信じられないことが起こります。彼女たちの前に御使いが現れ、主イエスがよみがえられたというのです。御使いが彼女たちに告げた言葉は、5-6節に記されています。「恐れてはいけません。あなたがたが十字架につけられたイエスを捜しているのを、私は知っています。ここにはおられません。前から言っておられたように、よみがえられたからです。来て、納めてあった場所を見てごらん下さい」と。

But when they come to the tomb, something unexpected happens. The angel of the Lord appears and tells them Jesus has risen. It says in verses 5 and 6: "Do not be afraid, for I know that you are looking for Jesus, who was crucified. He is not here; He has risen, just as He said. Come and see the place where He lay."

よみがえられた主イエスは、墓の中にはいませんでした。彼女たちが空の墓を見て、主のよみがえりを信じたかどうかは、ここには記されていません。けれども、彼女たちは7節の御使いの言葉を聞いて、急いで墓を離れ、その知らせを弟子たちに伝えに走ったのです。御使いは彼女たちにこのように告げました。「ですから急いで行って、お弟子たちにこのことを知らせなさい。イエスが死人の中からよみがえられたこと、そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれ、あなたがたは、そこで、お会いできるということです」。彼女たちは「恐ろしくはあったが大喜びで」あったと8節に記されています。彼女たちは主イエスがよみがえられたという知らせに大喜びしたのです。この時点で彼女たちは、復活のイエスにまだ出会っていませんが、その復活の知らせを喜んで受け入れたのです。

Risen Jesus was not in the tomb. The passage does not mention whether these women believed His resurrection by seeing the empty tomb. But by hearing the angel's words on verse 7 they hurried and went to tell the disciples. The angel said to them, "Then go quickly and tell his disciples: 'He has risen from the dead and is going ahead of you into Galilee. There you will see Him.'" Verse 8 tells they were "afraid yet filled with joy." They were filled with joy by the news that Jesus had risen. At this point they haven't met risen Jesus yet but they believed it.



そんな大喜びの彼女たちに主イエスは出会い、「おはよう」とあいさつされました(9節)。主イエスは、12弟子よりも先に、マグダラのマリヤともう一人のマリヤにご自分を現されたのです。それは実に信じられないことでした。しかし、実際に彼女たちの身に起こったのです。墓の中に主イエスのからだがなかったという証言を聞いて、すべての人が主の復活を信じるわけではありません。事実、弟子たちは彼女たちの知らせを聞いても信じませんでした。主イエスのよみがえりは、疑おうと思えばいくらでもできます。けれども、聖書は確かに主のよみがえりの知らせを聞いて、それを大喜びで伝えに行った彼女たちに、復活の主が最初に出会ってくださったことを告げています。彼女たちは主の御足を抱いて、主を礼拝しました。





Jesus said to them, “Greetings,”(verse 9). He appeared to these two women before showing Himself to His 12 disciples. This was very peculiar. Not everyone believes the resurrection of Jesus by hearing the testimony. In fact, the disciples did not believe when they heard it from these women. If people doubt it, they can make up many reasons. But the Bible tells us risen Jesus appeared to these two women who were on the way to tell the news joyfully. When they saw Jesus they clasped His feet and worshiped Him.

なぜマグダラのマリヤと、他のマリヤはそのような恵みに与ることができたのでしょうか？おそらく彼女たちも、主イエスが十字架の死後、三日目によみがえられると予告しておられたのを前に聞いていたことでしょう。しかし、彼女たちは復活の主に会うためにではなく、十字架で死なれた主イエスの葬りのために墓へ出かけたのです。ここから彼女たちのうちに初めから復活の信仰があったわけでないことがわかります。けれども、そんな彼女たちが主から恵みを受けたのは、主を慕い求める彼女たちの心にあったのではないかと思うのです。彼女たちは何よりも主イエスとの関係を大切にしました。主イエスの存在は、彼女たちにとって十字架の前も後も唯一愛し仕えるお方であったのです。その主を愛する彼女たちの心を知って、復活の主はご自身を現わして下さったのではないのでしょうか。

Why were these women allowed to receive such a blessing? They were probably aware of Jesus telling them He will be raised on the third day after His crucifixion. But they went to the tomb to bury dead Jesus, not to see resurrected Jesus. We can see they too did not believe in His resurrection. I think, however, it was their hearts that longed for Jesus that led to their blessing. They put priority to their relationship with Jesus more than anything. Jesus was the one they loved and served before and after the cross. I think Jesus appeared to them because He knew their heart and love for Him.

誰も初めから主イエスのよみがえりを信じる人はいません。しかし、主イエスとはどういうお方か、主の十字架は自分とどんな関係があるのかと、私たちが主イエスとの関係を求めていく時に、復活の主は私たちと出会って下さいます。神様は真理を捜し求める者に、復活の事実をわからせて下さるのです。私たち人間には、与えられたいのちを生きることとはできても、すでに死んだものや、もともといのちのないものに、いのちを与えることはできません。それができるのは神様だとおひとりだけなのです。

Nobody believes Jesus' resurrection from the beginning. But as we seek the relationship with Jesus – who He is, and what His cross has to do with us – He meets us. God helps understand those who really seek the truth. We humans can live the life given, but we cannot give life to something that doesn't have a life, or something dead. God is the only one who can give life.

 中世の世界的芸術家にミケランジェロ（Michelangelo; Mar6th1475 - Feb18th1564）がいます。   彼の作品は今も多くの人によって愛されています。彼にまつわるエピソードを一つ紹介します。彼の弟子である青年彫刻家が、月日をかけて天使の像を彫り上げました。彼は自分の作品について、師であるミケランジェロが何というかと陰に隠れてかたずをのんでいました。しばらくしてミケランジェロは「一つだけ欠けている」と言って立ち去りました。そのことばの意味がわからず、悩んでいる彼を見かねた同僚は、ミケランジェロの所へ彼を連れて行きました。すると、ミケランジェロは言いました。「実によくできていて、欠けているのは命だけだ、と思ったのだよ。それができたら神様ということになるね」。すべてのいのちの源は、この天地万物を造られた神様です。

Michelangelo (Mar6th1475 - Feb18th1564) was a worldly known artist from the Medieval Period. His works are still highly received by many people. I would like to introduce one of his episodes: one of his apprentices spent a long time and carved a sculpture of an angel. He was hiding, nervous about what his master would have to say about his work. After a while Michelangelo said, “It’s missing one thing.” Not getting what he meant, the young man was taken to the master by his colleague. Michelangelo said to him, “It’s very well done and the only thing missing is life... though if you could do it, you would be God.”

もしここに主の復活がわからないという人がおられるなら、どうぞ主イエスがどうやってよみがえられたかという復活についての議論はしないで下さい。そこには答えはありません。私たち人間はどうがんばったところで、人のいのちに関することを証明しきることはできません。私たちはみな神様に造られた者であって、私たち自身がいのちを生み出したわけではありません。

If there is anybody in here who doesn't understand Jesus' resurrection, please don't argue about it now. There is no answer here. We humans, no matter how hard we try, can never completely explain about life. We were all created by God and we didn't create life.

ですから、どうぞ今日のテキストから学んだように、いのちを与えることができる神様が、私たちを救うためにこの世に遣わして下さった御子イエスと彼との生きた関係を求めて下さい。あの二人のマリヤがそうであったように、あなたのためにいのちを捨てて下さった主イエス自身を大切にしてほしいのです。そうすれば、死よりよみがえられ、今日も生きて働いておられる主は必ずあなたに出会って下さいます。

Please seek the relationship with Jesus, whom God the Creator sent to save us. I urge you to have the same loving and serving heart those women had for Jesus – then Jesus, who rose from the dead and lives and works today, will come to you.

今日、あなたは復活の希望をいただいていますか？永遠のいのちである主イエス・キリストをうちにもっていますか？主イエスはもう墓の中にはいません。ご自身が初めから告げておられたように、主はよみがえられたのです。その主イエスがあなたに語っておられます。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる」(ヨハネ 11:25) と。主イエスを信じる者は、復活のいのちにあずかる者とされています。ともにこの復活の希望をいただいて、日々感謝と喜びの歩みを主とともにさせていただこうではありませんか。

Do you have a hope of resurrection today? Do you have Jesus Christ, who is the eternal life, within you? Jesus is not in the tomb. He has risen as He said. He says this to you, "I am the resurrection and the life. The one who believes in Me will live, even though they die. (John 11:25)" Those who believe in Jesus will have a resurrected life. Let us keep this hope of resurrection and walk with the Lord in thanksgiving and joy.